

【1級免除科目】

前回（第37回）あるいは、前々回（第36回）の試験で、科目合格（筆記試験は70点以上、面接は合格）した方は、今回（第38回）の試験でその科目を免除します。

【2級・3級免除科目】

各地商工会議所が開催する「2・3級販売士養成講習会」または日本商工会議所指定の通信教育機関（※）による「養成通信教育講座」を修了した方は、直後2回の販売士2・3級検定試験において、「販売・経営管理」科目が免除されます。ただし、2・3級販売士養成講習会の場合には予備試験に合格した方、養成通信教育講座の場合には全課程を履修しスクーリングを修了した方に限ります。「販売・経営管理」科目免除者の試験時間は2級160分・3級120分となります。

※日本商工会議所指定の通信教育機関：

社団法人 日本販売士協会	電話：03-3518-0191
社団法人 公開経営指導協会	電話：03-3542-0306
学校法人 産業能率大学	電話：03-3704-9111
社団法人 日本経営協会	電話：03-3403-6238

【3級免除科目】

①上記、2級・3級共通の免除科目

②全商協会主催による「商業経済検定試験」に合格した方は、下表のとおり筆記試験の一部の科目が免除されます。

パターン	全商協会商業経済検定合格科目	日商3級販売士免除科目
パターン1	・ビジネス基礎 ・マーケティング（2科目）	・マーケティング （1科目免除、試験時間は120分）
パターン2	・ビジネス基礎 ・マーケティング ・商品と流通、国際ビジネス、経済活動と法のいずれか1科目（合計3科目）	・マーケティング ・販売・経営管理 （2科目免除、試験時間は90分）

（注1）平成22年度に実施する第66回および第67回3級販売士検定試験において上記科目免除パターンを適用するためには、平成22年2月7日（日）実施の第24回商業経済検定試験において1科目以上合格科目があることが必須となります。

（注2）平成22年2月7日（日）実施の第24回商業経済検定試験において1科目以上合格科目があれば、それ以前の回の当該試験の合格科目と合わせて、上記科目免除パターンを適用することができます。